

29. バスの中で声をかける [1]

001 調 : プシューーー。 [2]

プシュー。

002 A : ハー ヨッコラシヨ。 {ため息} ドゴサ スワッカナー。

はあ よっこらしよ。 {ため息} どこに 座るかなあ。

003 B : アレ Aチャン。

あれ Aちゃん。

004 A : アラ。アラ ナンダベ。

あら。あら なんだろう。

005 B : ナーン イッペー [3] ナッタネー。

なに 一緒になったね。

006 A : シャネヒト イダヤ。 [4]

知らない人 いるよ。

007 B : ウーン。ドゴサ イグノッサ。

うーん。どこに 行くのさ。

008 A : イマー ホラ エマ ユ ヨータシニ イグーガトオモッテー。

今 ほら 今 × 用足しに 行くかと思って。

009 B : アー ソー。

あー そう。

010 A : ウーン。Bサンワ。

うーん。Bさんは？

011 B : ウン。オレワー イツモノトリー。 (A ハー) クスリ モライサ イグノ。

うん。私は いつも通り。 (A はあ) 薬 もらいに 行くの。

012A : ハリヤ。(B ウン) ナントシタベ。  
あら。(B うん) どうしたんだろう。

013B : ナヌ オメガシシデー。  
なに おめかしして。

014A : ホンダガ。タマニネー。  
そうなの。たまにね。

015B : ナーダガ フダンヨリ メンコグ ミエルナ。 [5]  
なんだか 普段より かわいく 見えるな。

016A : {笑} ホースカー。タマニネー、(B ウン) コナモ ヌンナイトー  
{笑} そうですか。たまにね、(B うん) 粉[=白粉]も 塗らないと

(B アソー) ヨノナガ アルゲネガラッサ。  
(B あーそう) 世の中 歩けないからさ。

017B : ホンデア カエリモ イッシヨニナッカナー。  
それでは 帰りも 一緒になるかなあ。

018A : ンダーネー。  
そうだね。

019B : ハイ。  
はい。

[1] 29. バスの中で声をかける

収録の際、話者には実際に横並びに設置した椅子に座って演技していただいた。

[2] 001 調 : プシューーー。

調査者がバスのドアが開く音を真似ている。

[3] イッペー

「一遍に」の変化か。『けせんぬま方言アラカルト』は「イッピニ」を載せ、「一緒

に。連れ立って。」と説明する。

[4] 006A : シャネヒト イダヤ。

AはBのことをもちろん知っているが、気心の知れた仲での冗談として「知らない人がいる」と発話したと考えられる。

[5] 015B : ナーンダガ フダンヨリ メンコグミエルナ。

話者によると、相手がめかしこんでいるときに、このように「メンコイ」という言葉を使い相手を褒めることはよくあるという。